

へっぼこ登山隊活動記録

※ サロマ湖展望台の巻 ※

ここ何年か正月の歩き初めはここと決め大パノラマとダイエット効果の一石二鳥を狙

って汗を流していますが、今年はちょっと遅く1月23日快晴、気温はマイナス4度と上出来のコンディション、国道238号線道の駅「サロマ湖」の駐車場とトイレを借り準備を整え山頂の展望台を目指しました。

物産館「みのり」の脇から歩き始め宿泊施設「悠林館」横の新しくなった入林ポストで名簿の記載を見ると、年明けから既に15人ほど登っていて新雪の下は踏み固まっていました。

展望台までは約2キロ、遊歩道が整備されているので雪が積もっていてもルートは分かりやすくジグザグに伸びる途中には何本もの獣道が横切りエゾシカやキタキツネが多く棲んでいる様子で、歩き始めて20分もすると最初の休憩ポイント「東屋」に着きますが木が多く見通しはあまりよくないのでここはパスして先に進み、高度が増すにつれサロマ湖の輪郭が次第にハッキリとしてきて、馬の背の尾根を渡り幌岩山の本体に取り付くと舞台のような「第1展望台」から富士(とっぶし)の街並みが足元に見えます。

このあたりまで来るとオホーツク海まで遠望が利くようになり「山頂展望台まで0.2K」のあまりあてにならない標識から一直線の階段、夏場はありがたいのですが積雪期は意外と厄介で下りの転倒には要注意、ここを過ぎると展望台の建物が見えますが直下にもう一つ急階段がまたも直線的に伸びていてメタボな隊員には息が上がり汗も噴出す留目の壁です。(普通の人にはタダの坂です)

山頂展望台からの眺めはやはり素晴らしく、夏とはまた一味違った眺めを楽しむことができ、この日はサロマ湖がほとんど氷に覆われた白い平原となり、砂洲状の陸地を挟んでオホーツク海の沖合いに白い帯びのような流氷が続いていました。

三角点のある本当の山頂はここから10分ほど先のところにあります。



佐呂間町 幌岩山 標高376m
(ほろいわやま)

登り	1:40	2:40
山頂休憩	20	
下り	40	



第1展望台

